

artesia

A-61

Digital Piano






Owner's Manual

安全上のご注意

この「安全上のご注意」に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者または他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用前に必ずよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、本書をいつでも確認できる場所に大切に保管してください。


■ 記号表示について


この「安全上のご注意」や取扱説明書、製品に表示されている記号の意味は、下記のようになっています。


 警告	この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示は、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。
	この記号は「～にご注意ください」という注意喚起を示しております。
	この記号は「～しないでください」という禁止行為を示しております。
	この記号は「必ず実行してください」という強制行為を示しております。


警告


■ 電源・電源コード


 **電源は必ず AC100V のコンセントを使用してください。**
上記以外のコンセントでの使用は、火災や感電の原因となる恐れがあります。ご使用前に必ずご確認ください。

 **電源コードは必ず付属のものを使用してください。**
他の電源コードを使用すると、感電や発熱の原因となる恐れがあります。


 **電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重いものをのせたり、熱器具の近くで使用しないでください。**
電源コードが破損し、火災や感電の原因となる恐れがあります。


 **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**
電源コードが破損して、火災や感電の原因となる恐れがあります。必ず電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。

 **煙や臭いなど、異常に気づいた場合**
火災や感電、故障の恐れがありますので、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、直ちに使用を中止し、お買い求め頂いた店舗またはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。


 **長時間使用しない時や落雷の恐れがある場合は、電源プラグを抜いてください。**
火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。

■ 水に注意

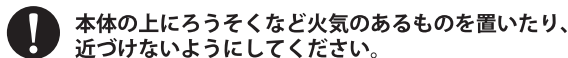
 **本体の上に花瓶などの液体が入ったものを置かない。また、浴室や雨にぬれるなど多湿な場所で使用しないでください。**
万一、本体の内部に水が入ってしまった場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、直ちに使用を中止し、お買い求め頂いた店舗またはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

 **濡れた手で電源プラグに触れないでください。**
感電の原因となる恐れがあります。

■ 分解・改造はしない

 **この製品の分解・改造はしないでください。**
感電、火災、けが、破損や故障の原因となる恐れがあります。

❑ 火気厳禁



本体の上にもろうそくなど火気のあるものを置いたり、近づけないようにしてください。

火災の原因となる恐れがあります。

❑ 落下などの破損



破損した状態での使用はお止めください。

本体が落下したときなど、一部が破損した状態で使用すると、火災や感電の原因となる恐れがあります。直ちに使用を中止し、お買い求め頂いた店舗またはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

❑ 危険な行為



小さい部品を飲み込む、梱包材(ビニール等)で遊ぶなどの行為は絶対にお止めください。

梱包材の段ボールで遊んだり、ビニール袋をかぶるなどの行為はケガや窒息の原因となる恐れがあります。特に小さなお子様のネジなどの部品の誤飲にはご注意ください。



本体やスタンドの上に乗る、揺らすなどの行為はお止めください。

本体やスタンドが倒れて、ケガをする恐れがあります。また、本体周辺で遊ぶなどの行為は危険ですので、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

※市販の電子ピアノ用スタンド使用時

⚠ 注意

❑ 電源・電源コード



電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。

火災、感電の原因となる恐れがあります。



使用後や長時間演奏しない時には、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

火災、感電の原因となる恐れがあります。



電源プラグやコードにほこりがたまらないように、清掃を行ってください。

電源プラグがショートし、火災の原因となる恐れがあります。電源プラグの清掃を行う際は、必ずコンセントから抜いて行ってください。



たこ足配線をしないでください。

コンセントが異常発熱して火災の原因となる恐れがあります。

❑ 設置



取扱説明書をよく読み、安全に正しくご使用ください。

本体は大きくて重量があります。安全にご使用いただくため、設置場所や日々の取扱については、十分ご注意ください。また、本体の設置、移動は必ず大人の方が行ってください。小さなお子様のご使用される場合は、必ずご家族の方が使用方法を教えてください。



設置、保管場所にご注意ください。

本機を以下のような場所に設置、保管しないでください。火災、感電など原因や、設置場所によってけがをする恐れがあります。

- ・ 高温・多湿な場所
- ・ 野外などの雨に濡れる場所
- ・ 暖房器具の近くや炎天下の車中など、温度が高くなる場所
- ・ 凸凹がある不安定な場所

上記以外にも、本機や周りの環境へ支障をきたす恐れがある場所には設置、保管しないでください。



本機に付いているゴム足について

本機を塗装がされている床などに長時間設置した場合、ゴム足と塗料が反応して塗装面が変色したりする恐れがあります。ゴム足の下にマットやフェルトなどの布を敷いて、ご使用ください。



本体に重いものを置かないでください。

本体が破損したり、ものが落ちてケガをする恐れがあります。

❑ お手入れ



本体のお手入れを行う時は、電源プラグを抜いてください。

電源プラグに付着したほこりなどのお手入れの際は、必ずコンセントからプラグを抜いてください。感電の原因となる恐れがあります。



本体のお手入れは、乾いたやわらかい布、または水をしぼったやわらかい布をご使用ください。

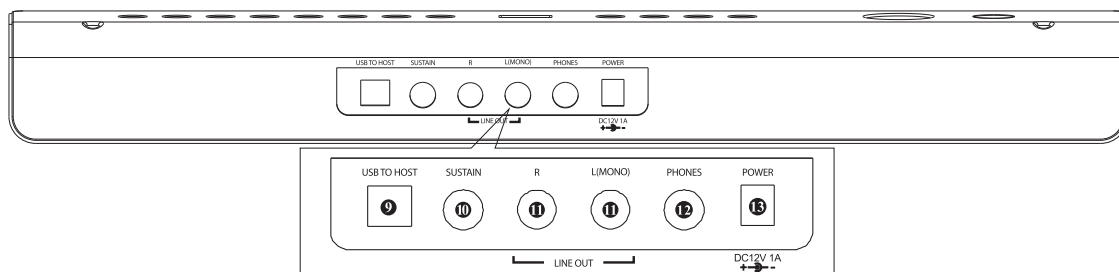
シンナーやベンジン、洗剤などのクリーナー材を使用すると、本体のパネルや鍵盤部分に変色する恐れがあります。

目次

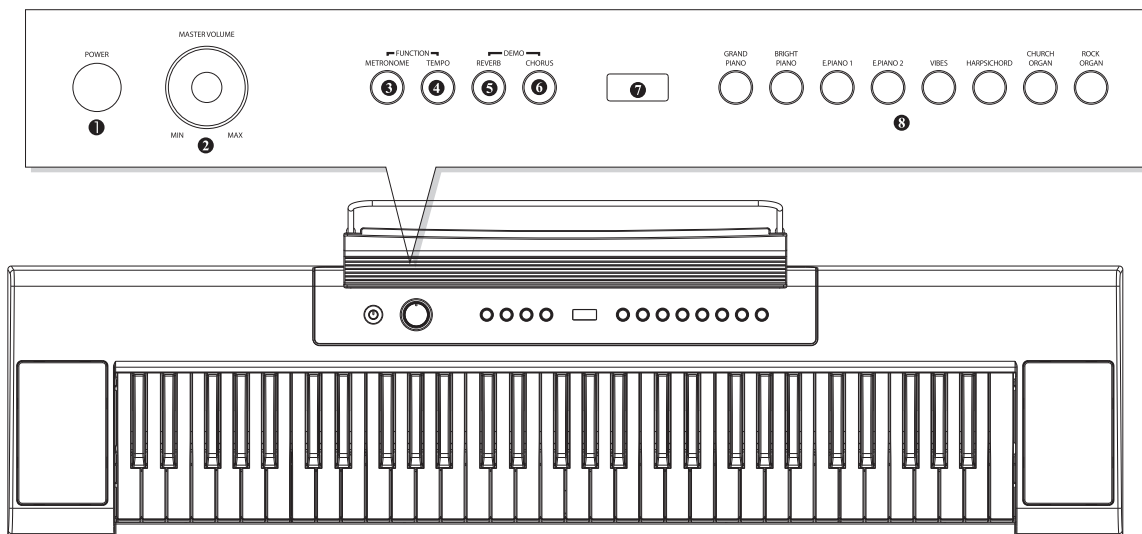
A-61 パネルコントロール	2
演奏をはじめ	3
電源をオンにする	3
オートパワーオフ機能のオン・オフ設定	3
ボリューム調整	4
ヘッドフォン端子	4
ライン端子	4
USB TO HOST 端子	4
サスティン端子	5
電源アダプター	5
乾電池駆動	5
ボイスの選択	6
デモソングを再生する	7
デモソングの再生	7
リバーブとコーラス	8
エフェクトの Depth(深さ) を選択する	8
レイヤーモード	9
レイヤーモードでメインボイスのボリュームを調整する	9
レイヤーモードでレイヤーボイスのボリュームを調整する	11
メトロノーム	12
メトロノームのボリューム調整	12
メトロノームの拍子変更	13
テンポの調整	13
ファンクションモード	14
マスターチューニング	14
ベロシティ	15
ベロシティの無効化	15
トランスポーズ	16
イコライザー調整	17
低域 (BASS) 調整	17
高域 (Treble) 調整	18
MIDI	19
MIDI チャンネル	19
ローカル オン / オフ機能	19
MIDI パニッキー	20
設定の初期化について	21
ファクトリー・リセット (工場出荷時の状態に戻す)	21
付録	22
ファンクションモード・キーチャート	26
A-61 スペック	27
保証規定・保証書	28
MEMO	29

■ A-61 パネルコントロール

Rear Panel



Top Panel



① POWER ボタン

電源のオン・オフを行います。電源のオンは1秒ほど長押ししてください。

② VOLUME つまみ

内蔵スピーカー、LINE OUT、PHONES 端子からの音量をコントロールします。

③ METRONOME ボタン

メトロノームのスタート・ストップを行います。

④ TEMPO ボタン

メトロノームのテンポを変更する際に使用します。

⑤ REVERB ボタン

残響を加えるリバーブのオン・オフを行います。オンの場合はボタンのLEDが点灯します。

⑥ CHORUS ボタン

音に奥ゆきを加えるコーラスのオン・オフを行います。オンの場合はボタンのLEDが点灯します。

⑦ LED ディスプレイ

各種ステータスを表示します。

⑧ ボイス ボタン

8種類のボイスから選択します。

⑨ USB 接続端子

USB-MIDI または USB オーディオ接続を行います。

⑩ SUSTAIN ペダル 接続端子 (1/4" ステレオフィオン)

付属のサスティン・ペダルを接続します。

⑪ LINE OUT 端子 (R, L/MONO RCA)

アンプ内蔵スピーカーやミキサー等の音響機器に接続する、外部出力端子です。

⑫ 電源入力端子

付属の専用アダプターを接続します。専用アダプター以外は絶対に使用しないでください。

⑬ PHONES 端子 (1/4" ステレオフィオン)

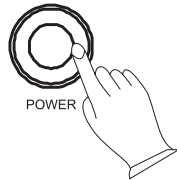
ヘッドフォンを接続します。

■ 演奏をはじめる

電源をオンにする

電源をオンにする前に、VOLUME つまみが絞られていることを確認してください。

POWER ボタンを1秒ほど長押しして、電源をオンにします。電源がオンになると、LEDパネルが点灯します。

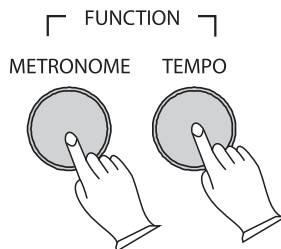


オートパワーオフ機能のオン・オフ設定

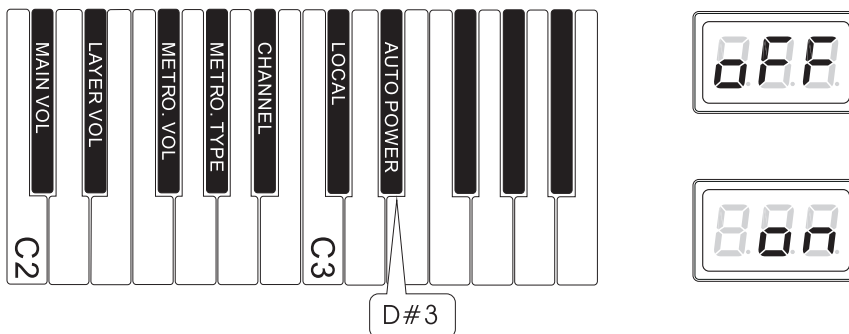
オートパワーオフ機能は、30分何も動作がない状態が続いた場合、自動的に電源がオフになる機能です。電源の切り忘れ防止に役立ちます。

環境に応じて設定を行ってください。(デモソング再生中は自動的に電源がオフになることはありません)

METRONOME ボタンと TEMPO ボタンを両方同時に押し、ファンクションモードにします。同時に押すと METRONOME と TEMPO ボタンが点灯します。



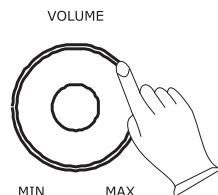
ファンクションモードの状態ですべての「D#3」キーを押して、オートパワーオフ機能のオン・オフを切り替えることができます。機能がオンの場合はLEDディスプレイに [on]、オフの場合は [oFF] と表示されます。



設定完了後はもう一度 METRONOME と TEMPO ボタンを同時に押してください。ボタンのLEDが消灯し、ファンクションモードを終了します。

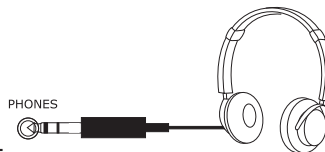
ボリューム調整

電源がオンになっていることを確認し、VOLUME ツマミを回してください。少しずつ時計回りに回して好みの音量に設定します。



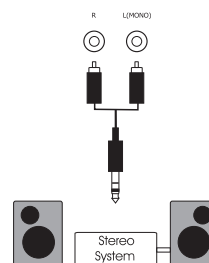
ヘッドフォン端子

リアパネルにあるヘッドフォン出力端子に市販のヘッドフォンを接続します。端子は 1/4" ステレオフォンプラグです。ヘッドフォンを接続すると、スピーカーからの出力はミュートされますが、LINE OUT からの出力はミュートされません。



ライン端子

ライン出力端子 (R, L/MONO) を使用することで、ピアノの音をキーボードアンプ、ステレオサウンドシステム、ミキシングコンソールやテープレコーダー等に出力することができます。端子は RCA です。



USB TO HOST 端子

MIDI 信号を USB 経由で転送することが可能です。

市販の USB ケーブルを用いて、コンピューターへ接続します。

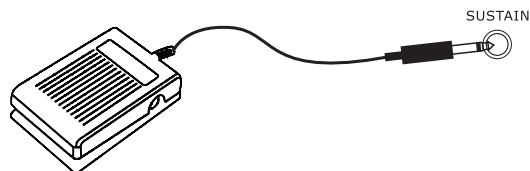
コンピューター上の音楽制作アプリケーションにて、鍵盤演奏を MIDI データとして録音したり、MIDI ファイル再生用のアプリケーションを用いて、楽器の音色を鳴らしたりすることができます。



サスティン端子

付属のサスティンペダルを接続します。

このサスティン端子は、自動的に接続されたプラグの極性を検出しますので、使い慣れたペダルを接続することも可能です。



NOTE

ペダルを接続する前に、ピアノの電源がオフになっていることを確認してください。

極性の検出がうまく読み込まれない場合があります。

市販のサスティンペダルを使用する場合、適切な操作のために極性を変えることが可能です。

サスティンペダルを踏んだ状態でピアノの電源をオンにしてください。

電源アダプター

付属の専用電源アダプターを POWER 端子へ接続します。

故障の原因となる恐れがありますので、付属の専用電源アダプター以外は使用しないでください。

乾電池駆動

本機は単一乾電池 6 個を使用して、アダプターなしで電源駆動が可能です。(乾電池は別売りです)

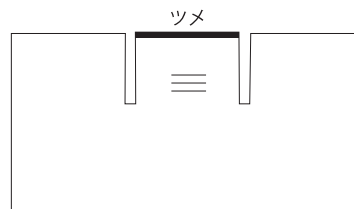
本体裏にあるバッテリーカバーのツメ部分を引っ掛けて手前に外します。

電池を入れる極性の方向表示を確認し、電池を 1 個ずつ入れてください。

また、電池は全て新しいものを使用してください。

古いものと混在して使用した場合、加熱・火災・液漏れなど予期せぬ事態の原因となる場合があります。

長時間使用しない時、電源アダプター使用時は、乾電池は必ず取り外してください。



NOTE

電池を入れる際、鍵盤部分やボタン等に負荷がかからない、安全な体勢で行ってください。

鍵盤部分やボタン等に負荷がかかると、故障や破損の原因となる場合があります。

本機は重量がありますので、転倒やケガに注意してください。

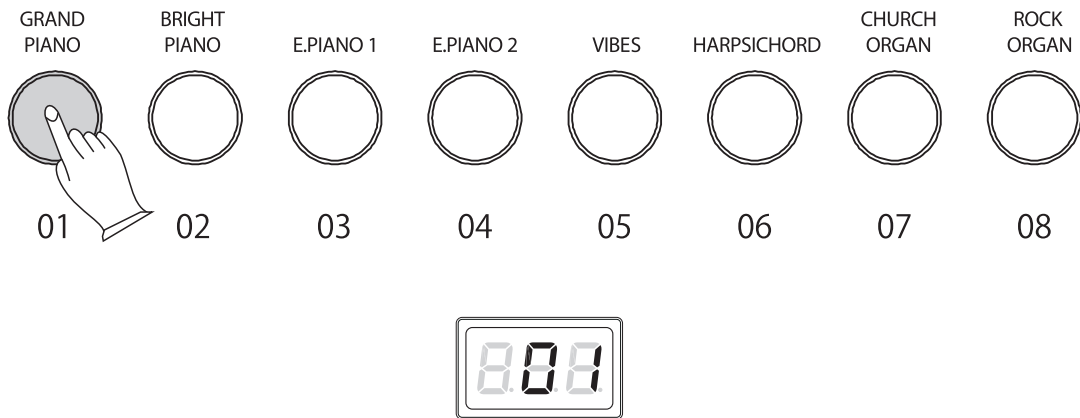
連続駆動時間は、電池の仕様や使用方法によって様々です。

■ ボイスの選択

本機はピアノ、オルガン等のボイス(音色)を8種類から選択することが可能です。

ボイス名が書かれたボタンを押して、ボイスを切り替えてください。

選択されたボイスのボタンが点灯し、LEDディスプレイにボイスに対応した番号が表示されます。



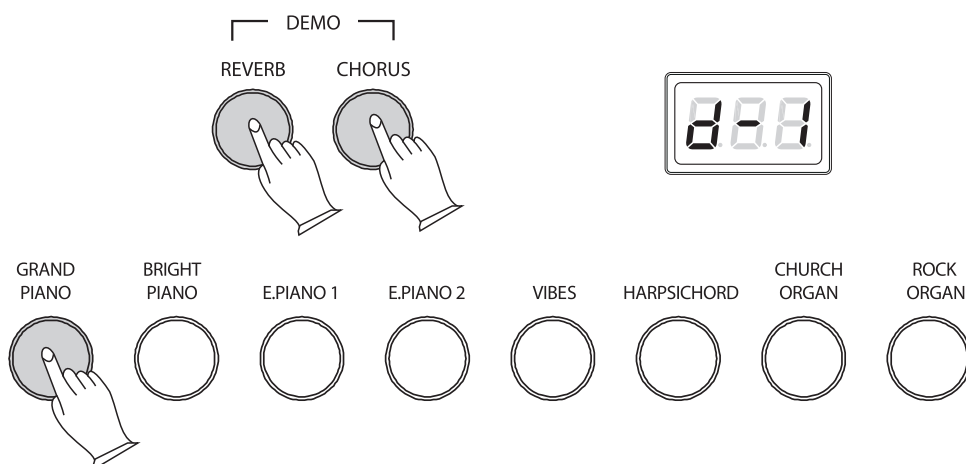
■ デモソングを再生する

本機はそれぞれのボイスを用いたデモソングが収録されています。
デモソング再生中でも演奏は可能です。

デモソングの再生

デモソングを再生するには、[REVERB] ボタンと [CHORUS] ボタンを同時に押します。ボタンが点滅し、デモソングが再生されます。

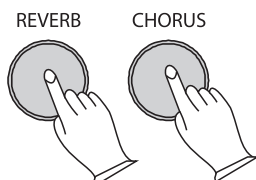
再生中にボイスボタンを押すと、選択したボイスを用いたデモソングが再生されます。



デモソングは停止をしない限り、ボイスに応じたソングを繰り返し再生し続けます。
停止するには再度 [REVERB] ボタンと [CHORUS] ボタンを同時に押します。

リバーブとコーラス

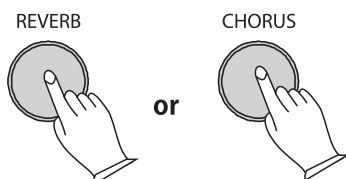
全てのボイスにリバーブ、コーラスエフェクトをかけることができます。
ボイスを選択し、[REVERB] ボタンを押すと LED が点灯しエフェクトがオンになります。
再度ボタンを押すことで LED が消灯し、エフェクトがオフになります。
コーラスも同様にボタンでエフェクトのオン/オフを行います。
両方のエフェクトを同時に使用することも可能です。



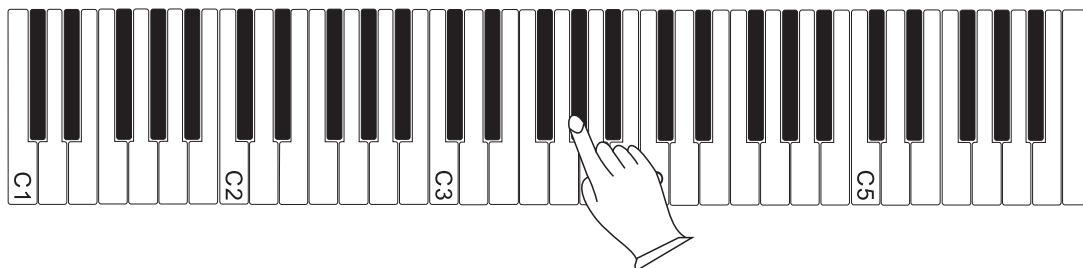
また、ボイスごとにエフェクトのオン/オフ設定が可能です。
各ボイスに対するエフェクトの オン/オフ 設定は自動的に保存されます。

エフェクトの Depth(深さ) を選択する

1. Depth を変更したいエフェクトボタンを、LED が点滅するまで長押しします。



2. LED が点滅したらボタンを離し、鍵盤を押して好みの Depth を設定します。LED ディスプレイに表示された数値を参考に、鍵盤左端 (C1) の「0」から右端 (C6) の「127」までのお好みの Depth を設定してください。



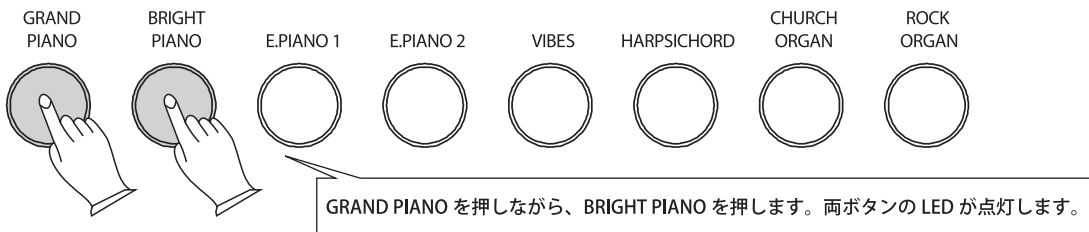
3. 選択しているエフェクトボタンを押して、設定を終了します。

■ レイヤーモード

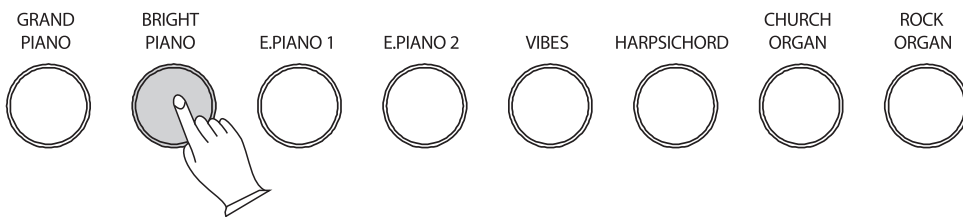
レイヤーモードでは、2つのボイスを重ねて演奏が可能になります。

レイヤーモードにするには、予め選択されているボイスボタンを押しながら、レイヤーサウンド用に追加したい別のボイスボタンを押してください。

例：GRAND PIANO に BRIGHT PIANO をレイヤーサウンド用に追加する場合



レイヤーモードを解除する場合は、選択されたいずれかのボイスボタンを押します。



レイヤーモードでメインボイスのボリュームを調整する

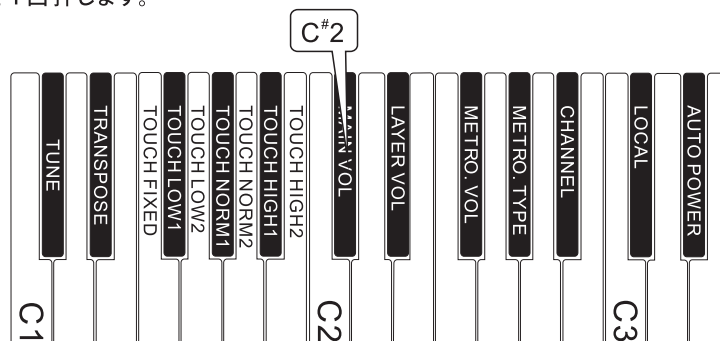
レイヤーモード中、各ボイスのボリュームは均一になっていますが、個々にボリュームの調整が可能です。メイン、レイヤーのボイスボリュームを調整することで、より自分好みのサウンドにアレンジ可能です。

1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。

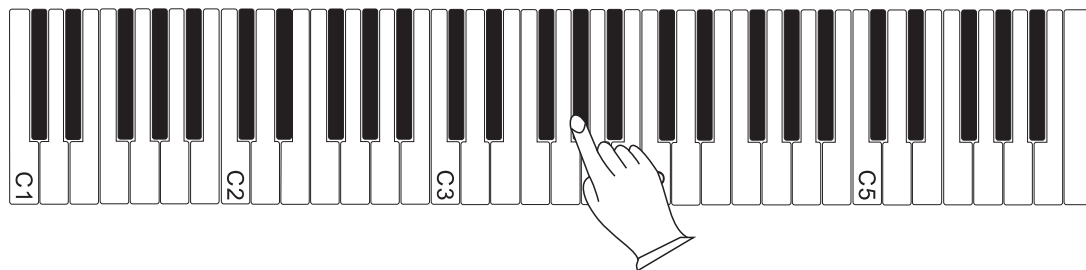
両方のボタンのLEDが点灯します。



2. 「C#2」キーを1回押します。



3. 音量は 0 ～ 127 までの範囲で設定が可能です。鍵盤を押して好みの音量に設定します。LED ディスプレイに表示された数値を参考に、鍵盤左端 (C1) の「0」から右端 (C6) の「127」までのお好みの音量を設定してください。好みの設定が見つかるまで繰り返し鍵盤を押してください。初期値は 127 です。

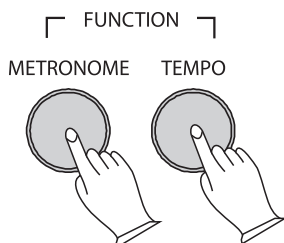


4. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードを終了します。

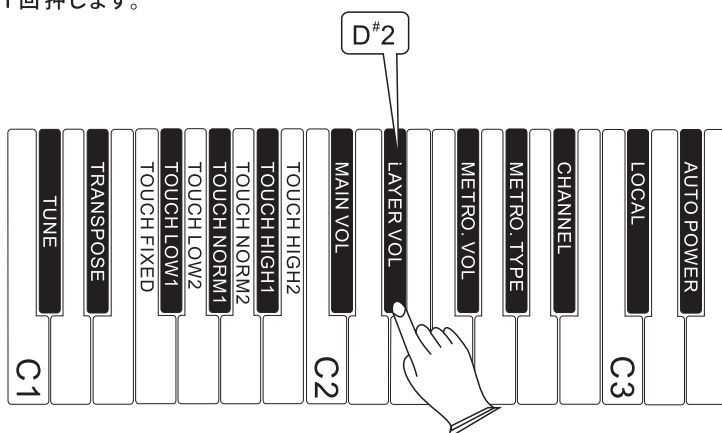
レイヤーモードでレイヤーボイスのボリュームを調整する

メインボイスと同様に、レイヤーボイスの音量のみの調整を行います。

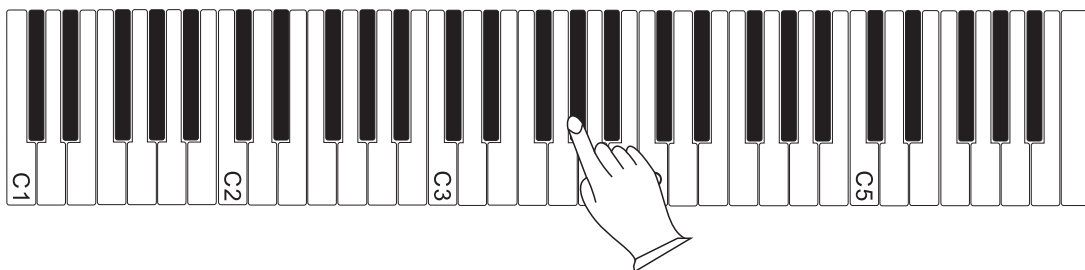
1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。
両方のボタンのLEDが点灯します。



2. 「D#2」キーを1回押します。



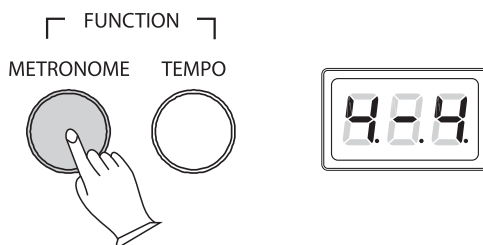
3. 音量は0～127までの範囲で設定が可能です。鍵盤を押して好みの音量に設定します。LEDディスプレイに表示された数値を参考に、鍵盤左端(C1)の「0」から右端(C6)の「127」までの間でお好みの音量を設定してください。好みの設定が見つかるまで繰り返し鍵盤を押してください。初期値は100です。



4. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードを終了します。

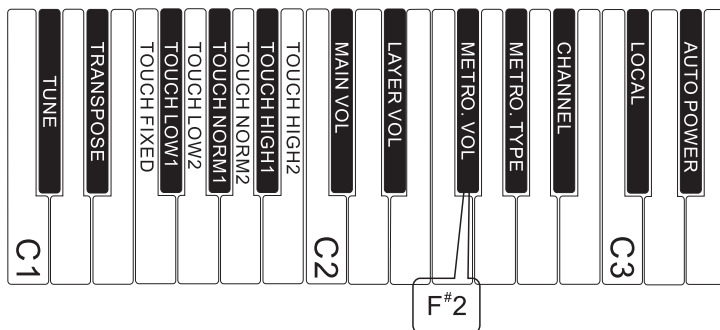
■ メトロノーム

[METRONOME] ボタンを押すとボタンと LED ディスプレイが点灯し、メトロノームがオンになります。LED ディスプレイには現在の拍子が表示されます。もう一度押すとメトロノームが停止し、消灯します。

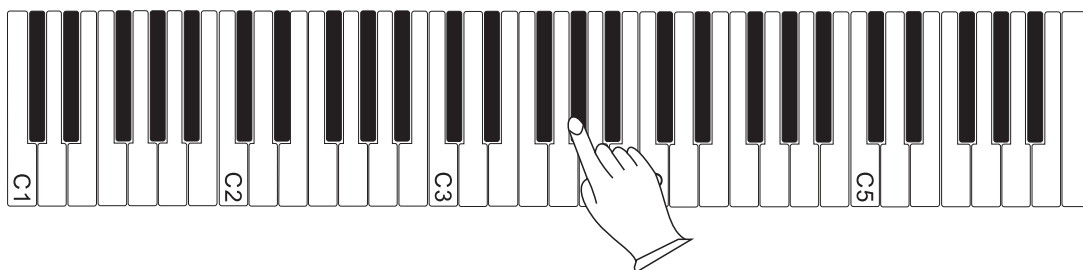


メトロノームのボリューム調整

1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。
両方のボタンの LED が点灯します。
2. 「F#2」 キーを 1 回押します。



3. 音量は 0 ～ 127 までの範囲で設定が可能です。鍵盤を押して好みの音量に設定します。
LED ディスプレイに表示された数値を参考に、鍵盤左端 (C1) の「0」から右端 (C6) の「127」までの間で好みの音量を設定してください。好みの設定が見つかるまで繰り返し鍵盤を押してください。



4. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードを終了します。

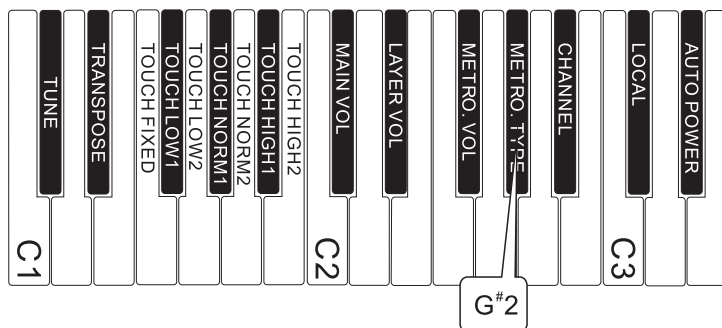
メトロノームの拍子変更

1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。

両方のボタンが点灯します。

2. 「G # 2」 キーを押すと現在選択されている拍子でメトロノームがスタートします。繰り返し鍵盤を押すことで、以下の順番でメトロノームの拍子が変わります。初期設定は 4/4 拍子です。

4/4 → 5/4 → 3/8 → 6/8 → 9/8 → 12/8 → 2/4 → 3/4 → 4/4 → ~ 繰り返し



3. 希望の拍子になったら [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードを終了します。

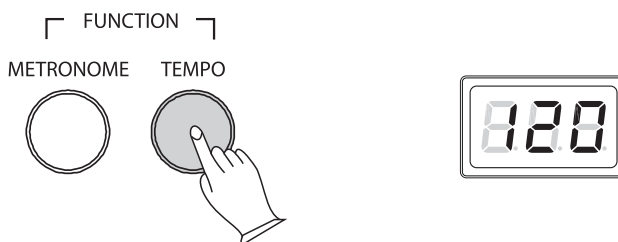
テンポの調整

メトロノームのテンポは 20 ~ 280 までの間で調整が可能です。

※61 鍵盤にテンポが割り当てられている為、20 ~ 280 の間で一部選択できない BPM があります。

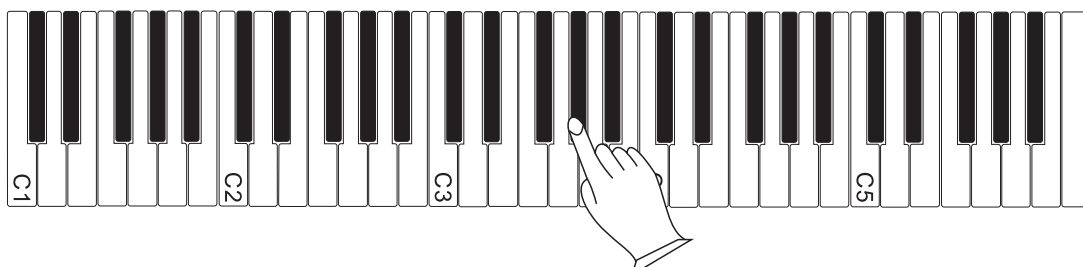
1. [METRONOME] ボタンを押してメトロノームをスタートさせます。メトロノームをスタートさせない状態でもテンポの変更は可能です。

2. [TEMPO] ボタンを約 3 秒ほど長押しします。LED ディスプレイに現在のテンポが表示され、[TEMPO] ボタンの LED が現在のテンポに合わせて点滅します。



3. テンポは 20 ~ 280 までの範囲で設定が可能です。鍵盤を押して好みのテンポを設定します。

LED ディスプレイに表示された数値を参考に、鍵盤左端 (C1) の「20」から右端 (C6) の「280」までの間で好みのテンポを設定してください。好みの設定が見つかるまで繰り返し鍵盤を押してください。

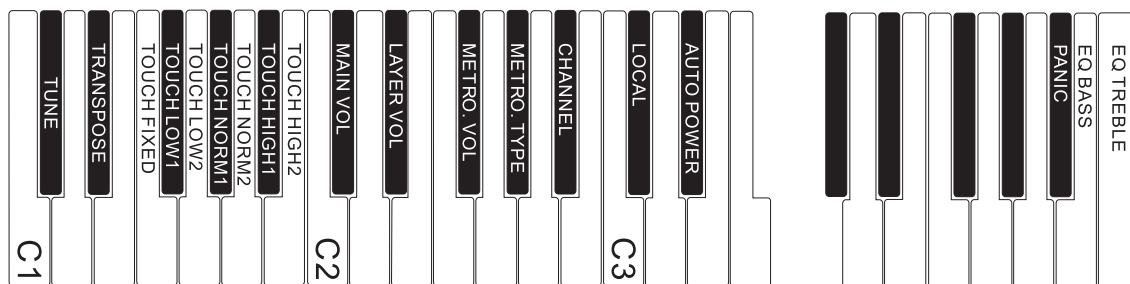


4. [TEMPO] ボタンを押して、設定を完了します。

■ ファンクションモード

ファンクションモードでは、予め決められている鍵盤のキーを押して、編集する機能の選択を行います。
ファンクションモードにするには、[METRONOME]と[TEMPO]ボタンを同時に押します。

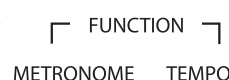
各鍵盤に割り当てられている編集モードは下図の通りです。



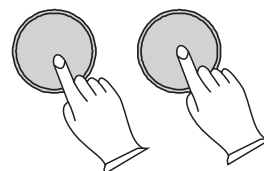
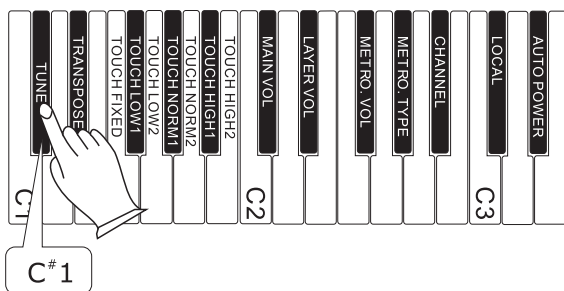
マスターチューニング

本機は A440 Hz にチューニングされており、アコースティックピアノのように音程が狂うことはありませんが、-64 ~ +63 セントの間で好みに応じてチューニングの調整が可能です。

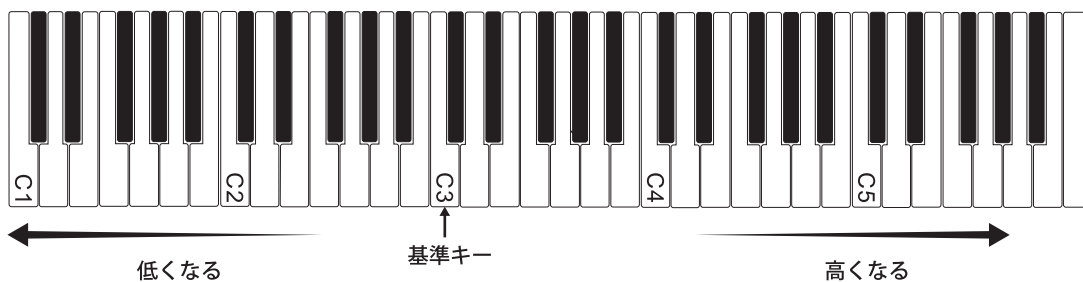
1. [METRONOME]と[TEMPO]ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。
両方のボタンのLEDが点灯します。



2. 「C#1」キーを1回押します。



3. 「C3」キーを基準 (A440Hz) として、チューニングの変更を行います。このモード中は、どの鍵盤を押しても基準音=C3が鳴りますので、LEDディスプレイを参照しながら、鍵盤左端 (C1) の「-64」から右端 (C6) の「+63」までの間でお好みの調整をしてください。



4. 希望のチューニングになったら [METRONOME]と[TEMPO]ボタンを同時に押して、ファンクションモードを終了します。

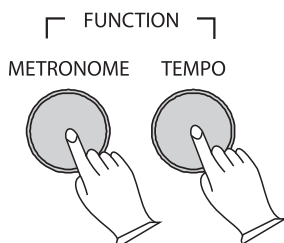
ベロシティ

ベロシティとは、鍵盤を弾く強さで音の強弱を表現できる機能です。

本機は低感度 (1-2)、通常感度 (1-2)、高感度 (1-2) の 6 種類から選択することが可能です。

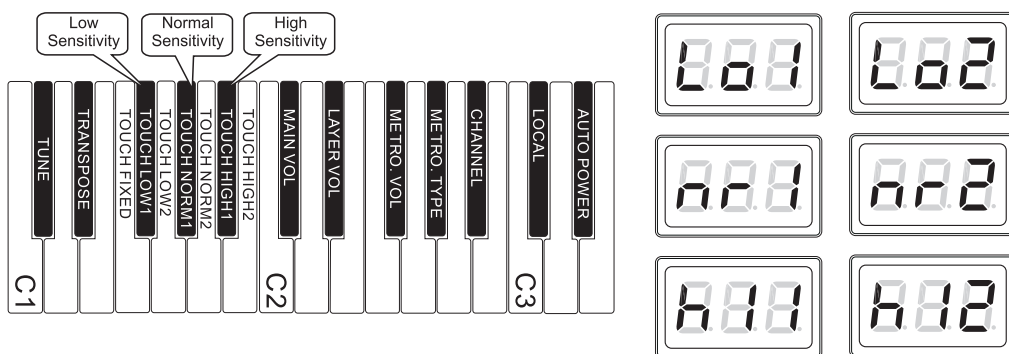
1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、

ファンクションモードにします。両方のボタンの LED が点灯します。



2. 下図を参考に「F#1」「G1」「G#1」「A1」「A#1」「B1」キーを押して、お好みの感度を選択します。

LED ディスプレイには選択された感度が表示されます。いずれか 1 つのキーを押すと、自動的にファンクションモードが終了し、選択した感度で演奏が可能です。

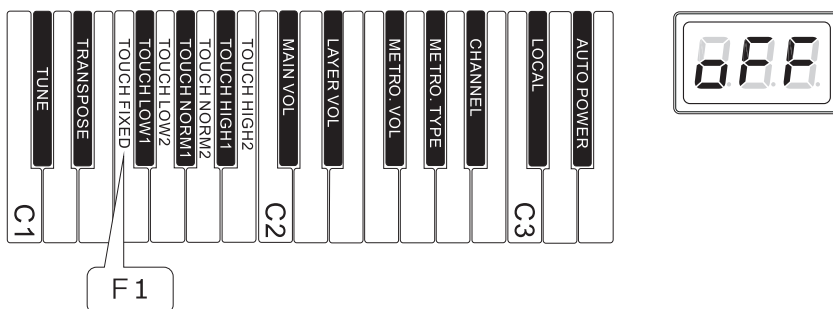


「LOW 2」「NORM 2」「HIGH 2」は感度は「LOW 1」「NORM 1」「HIGH 1」と同じですが、よりブライต์なサウンドとなります。

ベロシティの無効化

ファンクションモードで「F 1」キーを押すと、LED ディスプレイに [oFF] と表示されベロシティが無効化されます。

ベロシティが無効化されると、キーを押す強弱にかかわらず、音の強弱は一定となります。



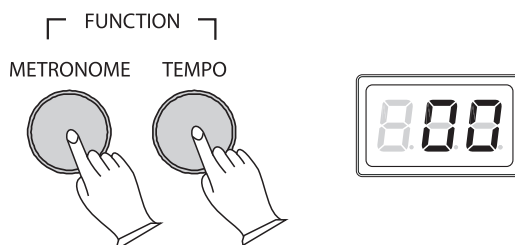
トランスポーズ

トランスポーズは、音程を簡単に上下シフトすることが出来る機能です。例えば、アンサンブル時に突然1音下げて演奏しなければならなくなった場合、瞬時にキー変更に対応して演奏をこなすことは困難です。しかし、この機能を使えば、普段と変わらない演奏でキーだけを下げても演奏することが可能になります。

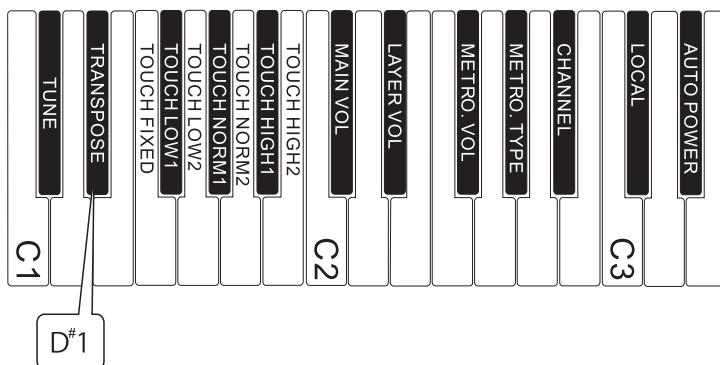
トランスポーズは最大 ±12 まで可能です。

1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。

両方のボタンの LED が点灯します。

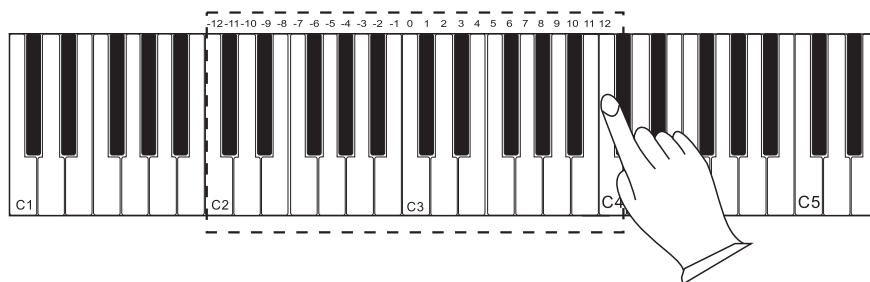


2. 「D#1」 キーを 1 回 押します。



3. 下図の C 2 ~ C 4 のトランスポーズ値と LED ディスプレイを参照し、設定したいキーを押します。

初期値は C 3 = 0 です。



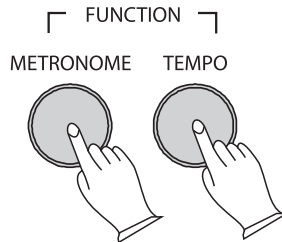
4. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードを終了します。

イコライザー調整

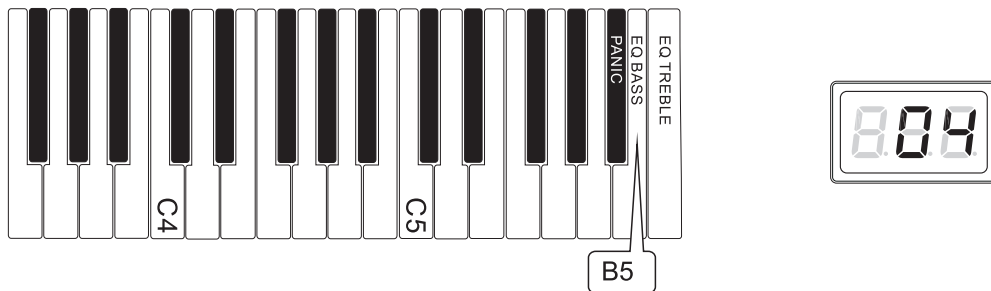
スピーカー、LINE OUT から出力される音色をより自分好みに調整するため、低域 (BASS) ・高域 (Treble) それぞれの出力レベルを調整可能です。

低域 (BASS) 調整

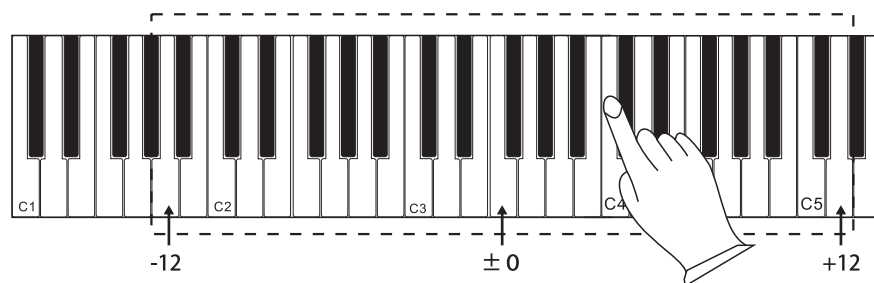
1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。
両方のボタンの LED が点灯します。



2. 「B 5」キーを 1 回押します。



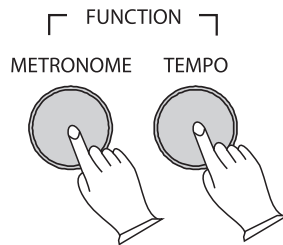
3. [A 1] から [D 5] までのキーを押して、低域部分の出力レベルをコントロールすることが可能です。
下図を参照して、好みの低域音量を選択してください。[F 3] キーが ± 0 となります。
調整幅は ± 12 dB です。初期値は ± 0 です。



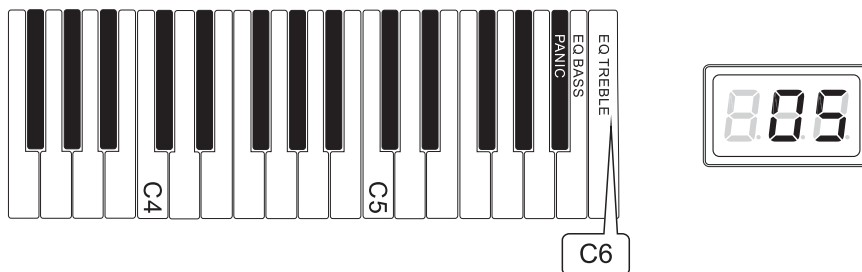
4. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードを終了します。

高域 (Treble) 調整

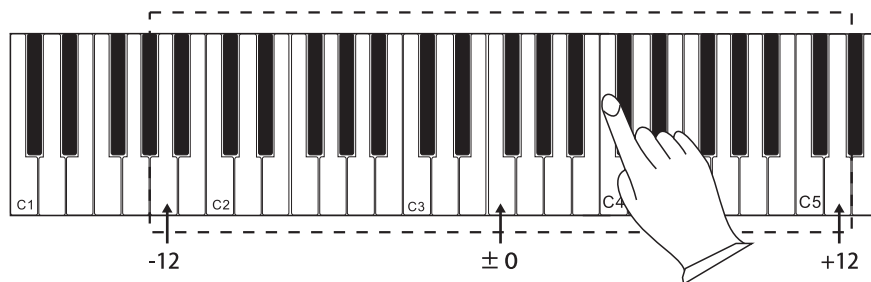
1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。
両方のボタンの LED が点灯します。



2. 「C6」キーを1回押します。



3. [A 1] から [D 5] までのキーを押して、高域部分の出力レベルをコントロールすることが可能です。
下図を参照して、好みの高域音量を選択してください。[F 3] キーが ± 0 となります。
調整幅は ± 12 dB です。初期値は ± 0 です。



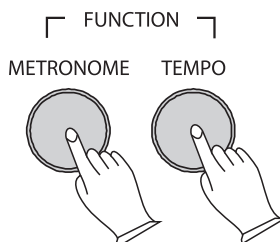
イコライザー調整は自動的にメモリー保存され、ピアノの電源を入れ直した場合でも更新された状態を維持します。
設定を簡単に元に戻したい場合は、工場出荷時の状態に戻すのがオススメです。

[REVERB] ボタンと [CHORUS] ボタンを同時に押しながら電源をオンにすることで、初期化が可能です。
(P21 ファクトリー・リセットの項目を参照)

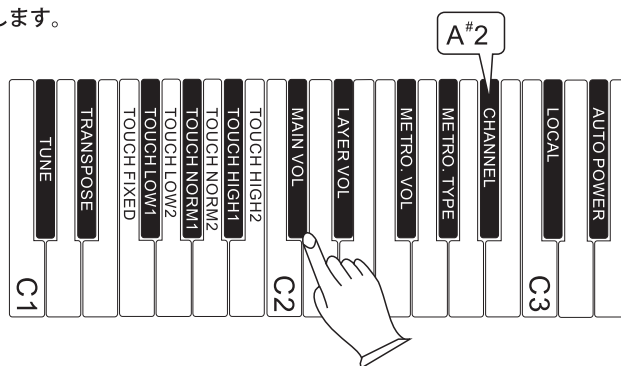
MIDI チャンネル

MIDI チャンネルの値の範囲は 1~16 で、初期値は「1」となっています。
ファンクションモードにて、MIDI チャンネルの変更が可能です。

1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。
両方のボタンの LED が点灯します。



2. 「A#2」 キーを押します。



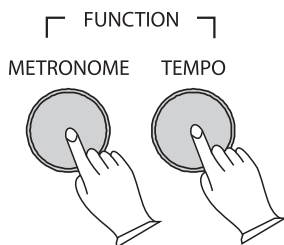
3. LED ディスプレイに MIDI チャンネルが表示されます (デフォルトのチャンネルは「1」です)。
鍵盤を 1 回押すごとに MIDI チャンネルが一つずつ繰り上がります。
1 ~ 16 まで、設定したい値になるまで繰り返し鍵盤を押してください。

4. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードを終了します。

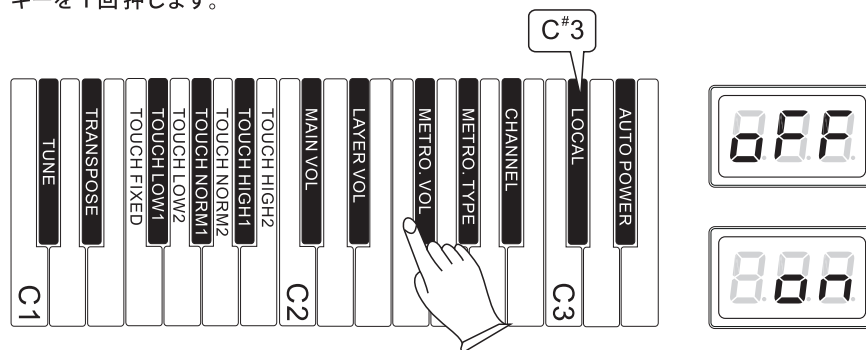
ローカル オン / オフ機能

ローカル オン / オフ機能をオフにすると、ピアノの内蔵サウンドエンジンからキーボードが切り離されます。
これは、ピアノを MIDI コントローラーとして使用して、他の MIDI 機器やインストゥルメントソフトウェアの音源等を使用して演奏する際に便利な機能です。

1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。
両方のボタンのLED が点灯します。



2. 「C# 3」キーを1回押します。



3. 「C# 3」キーを押すごとにLED ディスプレイの「on」、「oFF」表示が切り替わります。
デフォルトでは「on」となっており、「oFF」がローカルオフとなります。

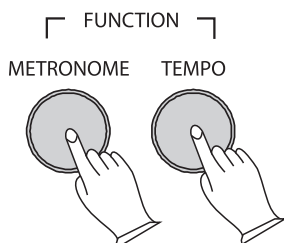
なお、ローカルオフにした場合、ピアノの内蔵サウンドエンジンからキーボードが切り離されますので、MIDI 機器等と接続していない状態で鍵盤を弾いても、音は鳴りません。

4. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードを終了します。

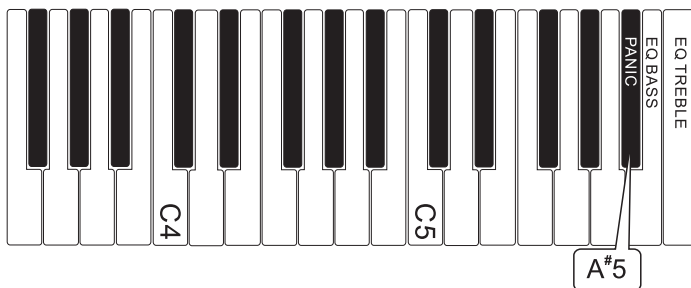
MIDI パニックキー

パニックキーを押すと、すべての MIDI チャンネル 1-16 の "Reset All Controllers" と "All Notes Off" MIDI メッセージが送信されます。MIDI 音源が鳴りっぱなしになってしまった際に、この機能を使って瞬時に止めることができます。

1. [METRONOME] と [TEMPO] ボタンを同時に押して、ファンクションモードにします。
両方のボタンのLED が点灯します。



2. 「A# 5」キーを1回押します。



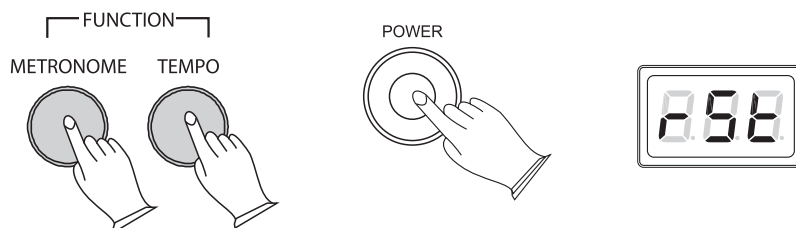
3. パニックが起動し、ノートオフなどの一般的な MIDI リセットメッセージが送信されます。
パニックリセットが完了すると、自動的に編集モードを終了します。

■ 設定の初期化について

ファクトリー・リセット (工場出荷時の状態に戻す)

ファクトリー・リセットを行うと、変更・保存されたすべてのメモリがクリアされ、すべての機能が工場出荷時の設定に復元されます。

電源オフの状態で、[METRONOME] ボタンと [TEMPO] ボタンを押しながら電源をオンにします。
全てのボイスボタンが点灯し、LED ディスプレイに「r S t」と表示されればファクトリー・リセットの完了です。
ボタンから指を離すと、そのまま通常起動します。



MIDI Implementation Chart

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	1-16	1-16	*Up to 3 channels simultaneously
	Changed	1-16	1-16	
Mode	Default	Mode 3	Mode 3	
	Messages	Yes	No	
	Altered	*****	No	
Note Number	True voice	0~127 *****	0~127	
Velocity Note	Note ON	Yes	Yes	
	Note OFF	Yes	Yes	
After Touch	Key's	No	No	
	Channels	No	No	
Pitch Bend		No	No	
Control Change		0-127	0,1,5,6,7,10,11, 32,64,65,66,67, 80,81,91,93,100, 101,121	
Program Change	True #	0-127 *****	0-7	8
System Exclusive		Yes*	Yes*	*The controller will recognize and respond to GM Device inquiries. Master Tune supported. Master Volume supported.
System Common	Song Position Pointer	No	No	
	Song Select	No	No	
	Tune Request	No	No	
System Real Time	Clock	No	No	
	Commands	No	No	
Aux Messages	All Sounds Off*	Yes	Yes	* The controller will respond to GM, but not piano voices.
	Reset All Controllers	Yes	Yes	
	Local ON/OFF*	Yes	Yes	
	ALL Notes OFF	Yes	Yes	
	Active Sensing	No	Yes	
	System Reset	No	Yes	
Notes				

MIDI Channel Modes		
	POLY OFF	MONO ON
OMNI ON	Mode1	Mode3
OMNI OFF	Mode2	Mode4

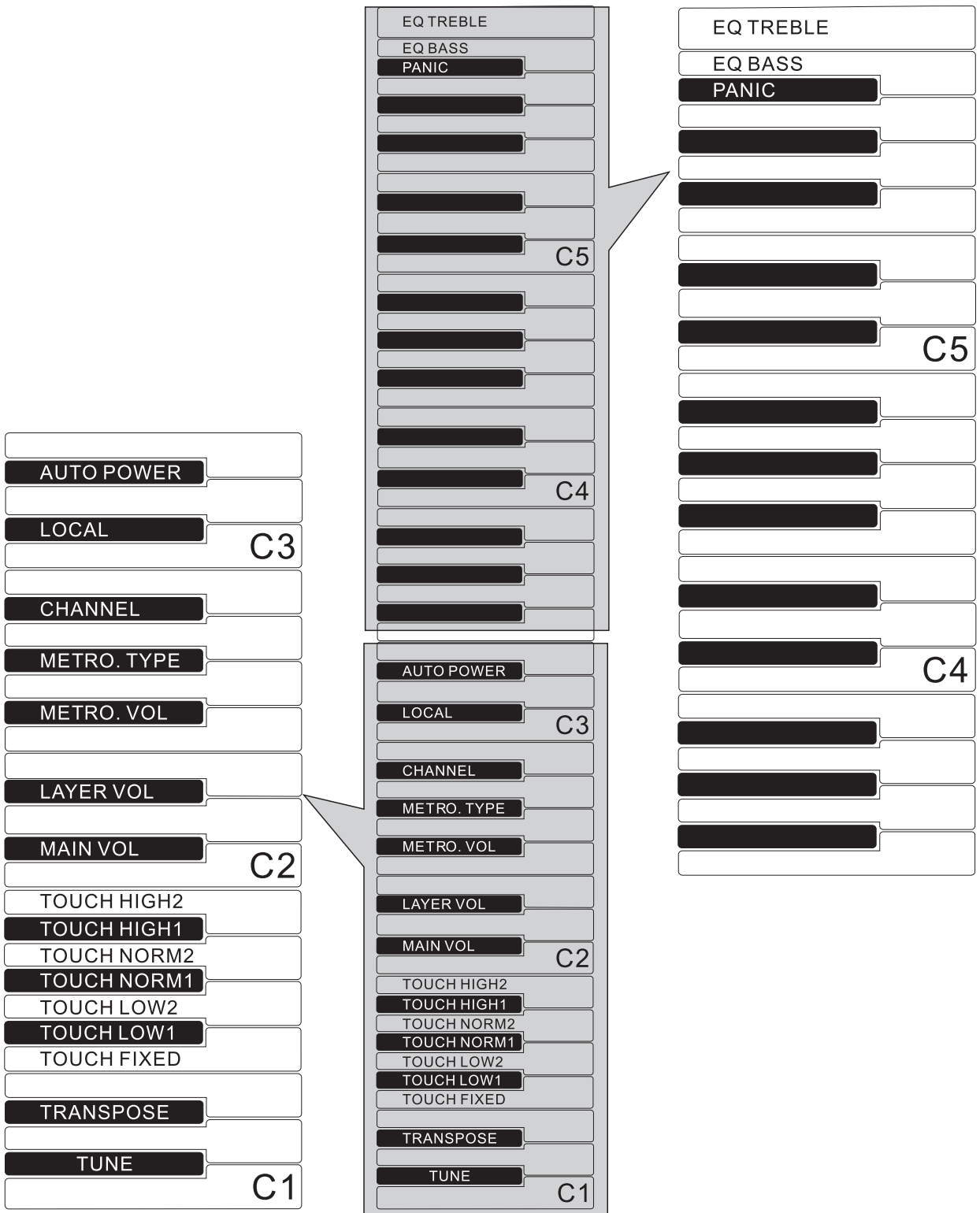
下記のチャートに従って、対応するキーを選択して希望の値を設定します。

	Tune	Voice Vol	Layer Vol	Metro. Vol	Reverb Vol	Chorus Vol	Tempo	Treble EQ	Bass EQ	Transpose
C1	-64	0	0	0	0	0	20	×	×	×
C#1	-61	3	3	3	3	3	24	×	×	×
D1	-57	7	7	7	7	7	28	×	×	×
D#1	-54	10	10	10	10	10	32	×	×	×
E1	-51	13	13	13	13	13	36	×	×	×
F1	-47	17	17	17	17	17	40	×	×	×
F#1	-44	20	20	20	20	20	44	×	×	×
G1	-40	24	24	24	24	24	48	×	×	×
G#1	-36	28	28	28	28	28	52	×	×	×
A1	-34	30	30	30	30	30	56	-12	-12	×
A#1	-31	33	33	33	33	33	60	×	×	×
B1	-27	37	37	37	37	37	62	-11	-11	×
C2	-24	40	40	40	40	40	64	-10	-10	-12
C#2	-21	43	43	43	43	43	66	×	×	-11
D2	-17	47	47	47	47	47	68	-9	-9	-10
D#2	-14	50	50	50	50	50	70	×	×	-9
E2	-10	54	54	54	54	54	72	-8	-8	-8
F2	-09	55	55	55	55	55	74	-7	-7	-7
F#2	-08	56	56	56	56	56	76	×	×	-6
G2	-06	58	58	58	58	58	80	-6	-6	-5
G#2	-05	59	59	59	59	59	82	×	×	-4
A2	-04	60	60	60	60	60	84	-5	-5	-3
A#2	-03	61	61	61	61	61	86	×	×	-2
B2	-01	63	63	63	63	63	88	-4	-4	-1

	Tuning	Voice Vol	Layer Vol	Metro. Vol	Reverb Vol	Chorus Vol	Tempo	Treble EQ	Bass EQ	Transpose
C3	0	64	64	64	64	64	90	-3	-3	0
C#3	1	65	65	65	65	65	92	×	×	1
D3	3	67	67	67	67	67	94	-2	-2	2
D#3	4	68	68	68	68	68	96	×	×	3
E3	5	69	69	69	69	69	98	-1	-1	4
F3	6	70	70	70	70	70	100	0	0	5
F#3	8	72	72	72	72	72	102	×	×	6
G3	9	73	73	73	73	73	104	1	1	7
G#3	10	74	74	74	74	74	106	×	×	8
A3	12	76	76	76	76	76	108	2	2	9
A#3	13	77	77	77	77	77	110	×	×	10
B3	14	78	78	78	78	78	112	3	3	11
C4	15	79	79	79	79	79	114	4	4	12
C#4	17	81	81	81	81	81	116	×	×	×
D4	18	82	82	82	82	82	118	5	5	×
D#4	19	83	83	83	83	83	120	×	×	×
E4	20	84	84	84	84	84	128	6	6	×
F4	22	86	86	86	86	86	130	7	7	×
F#4	23	87	87	87	87	87	132	×	×	×
G4	24	88	88	88	88	88	134	8	8	×
G#4	26	90	90	90	90	90	136	×	×	×
A4	27	91	91	91	91	91	138	9	9	×
A#4	28	92	92	92	92	92	140	×	×	×
B4	29	93	93	93	93	93	150	10	10	×
C5	31	95	95	95	95	95	160	11	11	×
C#5	32	96	96	96	96	96	170	×	×	×
D5	34	98	98	98	98	98	180	12	12	×
D#5	36	100	100	100	100	100	190	×	×	×

	Tuning	Voice Vol	Layer Vol	Metro. Vol	Reverb Vol	Chorus Vol	Tempo	Treble EQ	Bass EQ	Transpose
E5	39	103	103	103	103	103	200	×	×	×
F5	41	105	105	105	105	105	210	×	×	×
F#5	44	108	108	108	108	108	220	×	×	×
G5	46	110	110	110	110	110	230	×	×	×
G#5	49	113	113	113	113	113	240	×	×	×
A5	53	117	117	117	117	117	250	×	×	×
A#5	56	120	120	120	120	120	260	×	×	×
B5	60	124	124	124	124	124	270	×	×	×
C6	63	127	127	127	127	127	280	×	×	×

■ ファンクションモード・キーチャート



■ A-61 スペック

キーボード	61 ペロシティ - センシティビティ キー
ディスプレイ	マルチ・ファンクション LED ディスプレイ
ボイス	8
ポリフォニー	32
ボイスコントロール	レイヤー, レイヤーレベル, キーボード感度, チューニング, トランスポーズ
メトロノーム	20-280 拍子 (4/4 → 5/4 → 3/8 → 6/8 → 9/8 → 12/8 → 2/4 → 3/4 → 4/4)
ペダル	サスティンペダル
エフェクト	Reverb, Chorus, Bass EQ, Treble EQ
デモソング	8
MIDI & オーディオ	チャンネル 1-16, ローカル オン / オフ, USB MIDI
コントロール	USB TO HOST, SUSTAIN, LINE OUT(R) LINE OUT(L/MONO), PHONES, DC Power
スピーカー	YDT713 10W/4ohm × 2
サイズ (W×D×H)	1030 × 260 × 75 (mm)
重量	約 6.32 Kg
付属品	オーナーズマニュアル, サスティンペダル, 専用アダプター

アダプター仕様：
入力：100-240V - 50/60Hz 0.4A
出力：12V 1000mA 12W
センタープラス

■ 保証規定・保証書

本保証は、保証期間中に本製品を保証するもので、消耗品または一部付属パーツ（譜面立てやボタンノブ等）は保証の対象になりません。保証期間内に本製品の保証該当箇所が故障した場合は、保証規定に基づいて無償修理いたします。

- 1.本保証書の有効期間はご購入日より1ヵ年です。
- 2.次の修理等は保証期間内であっても有料となります。

- ・消耗部品（スピーカー、サスティンペダル等）の交換。
- ・天災（地震、火災、浸水等）によって生じた故障。
- ・お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
- ・故障の原因が本製品以外の製品に該当する場合。
- ・改造、パーツ交換などにより生じた故障または損傷。
- ・保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、お買い上げ明細が無い場合。

- 3.本保証書は日本国内使用においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

- 4.保証修理をご依頼いただく際は、販売店様へご連絡いただき、保証確認、お受付をお願いいたします。販売店様に移転された場合でも保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、移転された販売店様へご確認ください。

- 5.修理・検品のご依頼の際に発生する運送費用が高額になることがありますので、あらかじめ販売店様へご相談ください。

- 6.修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても行っておりません。

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。

保証修理・有償修理、いずれの場合も内容によってご対応に日数を要する場合があります。修理に要する日数によって生じる二次的損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

● 修理対応をご依頼いただく際について

- 1.保証書に販売店様による年月日等の記入がない場合は無効となります。インターネット通信販売でのご購入等、記入ができない場合は、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。

なお、保証がお受けできるのはファーストオーナー様のみです。中古品、オークションやフリーマーケットサイト等での個人間でのご購入品であることが発覚した場合は、保証対象外となります。

- 2.保証書は再発行致しません。大切に保管してください。

- 3.保証書は原本のみ有効です。コピーは無効となります。

保証書

● 保証期間

お買い上げ日より1ヵ年です。

● 保証期間中の修理のご依頼について

販売店様へご連絡いただき、修理のご依頼をお願いいたします。ご依頼の際は本保証書のご提示をお願いいたします。

● 保証期間及び期間経過後の修理対応について

修理することによって性能が維持できる場合は、お見積りに後に有料で修理をさせていただきます。ただし、補修用の部品等の入手が困難な場合は、修理を受取することができません。修理について事前に詳細を確認される際は、販売店または弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

なお、保証期間経過後のお見積り及び修理は全て有償でのご対応となります。

● 修理期間について

修理する内容によってご対応期間が異なります。修理のご依頼の際に症状をお伝えいただき、おおよそのご対応期間についてご確認をお願いいたします。

ふりがな	男・女
お名前	年齢
ご住所(〒 -)	
電 話 () -	
ご購入楽器店名(必ずお店のゴム印を頂いて下さい。)	
ご購入年月日 年 月 日	

販売元

artesia

KYORITSU CORPORATION

〒468-0002
愛知県名古屋市天白区焼山1丁目813番地
カスタマーサポート
E-MAIL: support@kyoritsu-group.co.jp

artesia

販売元

KYORITSU CORPORATION

〒468-0002

愛知県名古屋市天白区焼山 1 丁目 813 番地

カスタマーサポート

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp